

小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業

免許法認定公開講座・免許法認定通信教育 中二種免（英語）



最新情報はHPで「[香川大学免許法認定公開講座](#)」で検索

小学校の外国語活動の指導において中心的な役割を果たしている現職教員の英語力および英語指導力を高め、専科指導を可能とする中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得させ、教科としての外国語に対応できる人材を育成するため免許法認定公開講座・免許法認定通信教育 中二種免(英語)を※開設します。

※（令和5年度、令和6年度の2年度で免許取得が可能となる講座開設を計画しています。）

小学校教員のほか、多様な専門性を持った外部人材の外国語(英語)教育への活用を促進するという観点から、外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等も、受講生として受け入れます。（教員免許をお持ちでない方が受講した場合、受講証明を発行しますが、教育職員検定での単位とはなりません。）

開設方法等について

対面による講座（免許法認定公開講座）とオンラインによる講座（免許法認定通信教育）を実施します。オンラインによる講座は、同時双方向通信（Zoomを使用）で実施します。（裏面参照）
各講座 講座(1単位) は、2日間で開設になります。1日だけの受講はできません。

受講資格（次のいずれかの条件に該当する方）

- ・ 小学校教諭普通免許を有する教員で、小学校で英語教育に関わる見込みのある方。
- ・ 外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等で、小学校で英語教育に関わる見込みのある方。

（申し込みにあたり、教育委員会・学校長等の推薦者の証明が必要です。）

受講料

徴収しません。テキスト代及び教材費等は受講者の負担とする場合があります。

受付期間・申込方法

受付期間・申込方法、[ホームページを参照](#)してください。【[「香川大学免許法認定公開講座」で検索](#)】

その他

受講希望が多数の場合は、受講者を書類選考する場合があります。

開設講座

	開設日	開設講座名	免許 種類 の 中 二 種 免 （ 英 語 ）	免許法施行規則に定める科目区分等		授与 単位	定員	単位数	開設方法		免許法別 表第8対 応科目
				科目	各科目に含める必要事項				対面	オンライン	
1	8月9日 8月10日	学校教育相談学	種 中 免 二	教 職	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	1	40	1		○	○
2	8月21日 8月22日	※ 英語史概論	中 二 種 免 （ 英 語 ）	教 科	英語学	1	40	1	○		○
3	8月5日 8月6日	※ 英語音声学概論				1	40	1	○		○
4	9月9日 9月10日	※ 英語圏児童文学			英語文学	1	40	1	○	○	○
5	9月23日 9月24日	英作文基礎			英語コミュニケーション	1	40	1	○	○	○
6	8月7日 8月8日	※ 日英のことばと文化			異文化理解	1	40	1	○		○
7	11月4日 11月5日	※ 異文化コミュニケーション論概説				1	40	1	○	○	○

※ 教員免許法施行規則 第4条備考 二の教科に関する専門的事項の一般的包括的な内容を含む科目。

開設講座の概要

学校教育相談学 講師:宮前淳子、宮前義和 (8月9日、8月10日)	学校教育相談は、子どもの心理的発達を支える日常的な教育活動の一つです。本科目では、主に思春期における子ども理解に関する理論とそれに基づく心理的援助の方法について学習します。様々な悩みを抱える子どもを対象とした問題解決的な教育相談や、予防・開発的な教育相談の在り方について、事例を挙げながら具体的に考えていきます。また、保護者や関係諸機関との連携について、これまでの実践を振り返りながら考えていきます。【オンライン講習】
英語史概論 講師:永尾 智 (8月21日、8月22日)	ことばには歴史があります。本講では、英語という言葉の成り立ちを歴史という視点で考えます。ただし、1500年の歴史を語るには、授業時間が少なすぎますので、本講ではその一部を垣間見るに過ぎませんが、覚えるだけの英単語、覚えるだけの英文でしかなかった英語が違った姿に見えてくるはずです。英語に備わる文化的側面に触れる学習として、一緒に英語の歴史を楽しみましょう。今回は、18世紀から19世紀を中心に考察する予定です。【対面講座】
英語音声学概論 講師:長井 克己 (8月5日、8月6日)	前半は英語の母音と子音の発音する練習を行いつつ、英語音声の仕組み（有声無声、調音位置、調音方法）を正しく理解することを目指します。後半は音と文字の関係（フォニックス）、音素と発音記号、強勢とイントネーション、自然な速度での発音の変化（調音結合等）について概観します。時間があれば応用として、コンピュータによる音声の編集や分析について、フリーソフトウェア(audacity,praat)の活用法を紹介したいと思います。【対面講座】
英語圏児童文学 講師:杉田 貴瑞 (9月9日、9月10日)	本授業では、イギリス文学、アメリカ文学およびカナダ文学のなかから、児童文学と見なせる、The Adventures of Tom Sawyer, The Wonderful Wizard of Oz, Alice's Adventures in Wonderland等の作品を取り上げ、その児童書版やグレイディッド・リーダーと原書とを比較しながら、講読します。また、受講生の更なる英文読書能力および聴解能力の向上に資する、いくつかの有用なウェブサイトを紹介します。【対面・オンライン講習】
英作文基礎 講師:パテン・ポール (9月23日、9月24日)	この授業では、次の4つの点に焦点をあてて行なう。1) 子どもたちがどのように書かれたものを読み、書き始めるのか 2) 子どもたちに、どのように文字や文を導入したら良いのか、その準備と方策 3) 受講者に、eメールや書かれた教材を作成するための、基礎的なライティング・スキルを身につけさせること 4) 文字を使った基礎的なゲームなどの紹介である。【対面・オンライン講座】
日英のことばと文化 講師:竹中 龍範 (8月7日、8月8日)	ことばと文化とは不即不離の関係にある。これは言語学習において基本原理として理解しておくべき事項である。この授業では、文化とはなにかを踏まえて、文化が多様であること、及び、異文化間コミュニケーションにおいてはその多様性が反映されることを認識した上、そのうち特に言語文化と呼ばれる領域を取り上げて論ずる。日本文化、英語文化を背景に持つ人々が接触した際に、それぞれの文化がそれぞれの言語、コミュニケーションの場に、どのような形で関わり、現出するかを、小学生にもなじみのある事例を引きながら分析し、これを教材研究に活かす方法を検討する。【対面講座】
異文化コミュニケーション論概説 講師:パテン・ポール (11月4日、11月5日)	本概説では、日本と英語圏の国々（特にニュージーランド）との類似点や相違点などに焦点をあてる。とりわけ若い学習者が多くを学ぶのは、相違点であろう。特に焦点をあてていきたいのは、教育、社会、文化、環境、習慣、礼儀、日本との関係などである。日本人と外国人がスムーズにコミュニケーションをとるためのスキルを身につける練習を行う。【対面・オンライン講座】

オンライン講座について（Zoomを利用した同時双方向通信の講座です。）

準備する機器・環境について

- インターネット環境のある部屋で受講してください。
- Zoomをインストールしたパソコンをご準備ください。（タブレットやスマートフォンですと、機能が制限される場合があります。）
- Webカメラとマイクをご準備ください。講座によっては、オンライン上でグループワークを行うことがあります。ハウリングが生じる可能性がある場合は、イヤホンやヘッドセットをご準備ください。
- Zoomは、最新版を使用してください。

オンライン講義ご受講にあたっては以下を遵守してください。

- Zoomに表示される名前は、受講者本人の氏名に設定し受講してください。また、他の受講者の氏名等の情報は他者に漏らさないでください。
- 講習の一部または全体を録音、録画、撮影、画面のキャプチャ（スクリーンショット）などしないでください。
- 受講者の方が、原則として単独で視聴してください。（子どもや要介護者など同席せざるを得ない場合は、事前にご相談ください。）
- 講習の中で取り扱った事例については、ブログやSNS等による発信や、他者への口外はしないでください。
- 講師の指示以外で、講義中に他の受講者に個別にチャットなどで連絡しないでください。
- 視聴URLやパスワードは、第三者に漏らさないでください。
- 講座配付教材等は、受講目的以外で利用はしないでください。

その他

- Zoomの接続テストを、講習前に実施します。実施日時については受講者と調整します。
- 受講状況については、講師や授業補助者が受講者のカメラ等で随時確認します。カメラやマイクのオン・オフは講師や講座補助者の指示に従ってください。
- オンラインでの受講環境（機器や通信環境）が対応できない方は、ご相談ください。香川大学内でオンライン講習の受講環境を提供できます。（若干名）
- 不明なことがありましたら、教職支援課にご相談ください。kyoshoku-h@kagawa-u.ac.jp